

安保破棄ニュース

No. 491
2018.3.16

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒545-0014 大阪市天王寺区玉造町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
●Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>

安保破棄大阪実行委員会の 役割を確認

2018年度総会（幹事会）を開催



議案提案をする、
守山事務局長

特別報告をする、
安保破棄中央実行委員会事務局長の
東森さん

ら発言がありました。

大阪AALAの澤田さんからは、「世界の流れが見えやすくなってきた」と、この間の北朝鮮問題の進展、その背景には核兵器禁止条約の採択があり、市民が声を上げれば世界は動くということに確信を持つと話され、安倍内閣の外交能力、政権担当能力のなさを示されました。「大本に安保体制があることを全面に押し出して、安保廃棄の旗を掲げていくことが必要」と、安保破棄実行委員会の役割の重要性を話されました。

民医連の西村さんからは、この間の民医連として行ってきた名護市長選挙支援の報告と、安倍政権の軍拡路線が社会保障に与える影響についての発言がされました。名護市長選挙支援の参加者がそれぞれの職場で報告会などを開いていることなどが出され、医療・介護の分野で安倍政権によっていかにひどいことが進められているのかを話され、諸要求貫徹の視点からも安保破棄の重要性を示され、「安保と憲法9条改定の関係をしっかりと学習することが必要」と話されました。

大阪労連の鴻村さんからは、この間の宣伝行動で私たちの声に耳を傾けてくれる人が増えているということが話され、毎月の「大阪安保23定例宣伝行動」へもっと多くの参加で淀屋橋の両サイドで宣伝できるようにということを訴えてくださいました。また、「大阪でできる活動が大阪安保の活動の中心になるべき」ということや「組織強化の為に、各地域で安保破棄実行委員会をつくっていくことが必要」という提案もされました。

平和委員会の飯田さんからは、この間の青年による沖縄ツアーの経験や、韓国の学生との交流、7月に予定されている「全国青年うたごえ祭典」が大阪で開催されることなどが話されました。

個人幹事の矢野さんは、西淀川区での3000万署名の取組について報告されました。9のつく日の4駅頭宣伝、19日には「戦争アカン西淀川ドラムデモ」をやっているということが話され、「自分の身の回りの人に声をかけていかないとこの署名は集まらない」ということを話されました。

平和委員会の奥村さんからは、名護市長選挙支援の行動とカンパの取組に関して発言されました。現地行動の中での経験を踏まえ、支援カンパのあり方に関しても示され、「稲嶺さんのすごい実績があまり伝えられなかった」という率直な思いも出されました。

4月27日には「名護市長選挙支援報告集会（仮称）」を開催することも確認され、今年の安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会としての活動をつくっていくための議論と確認がされた総会となりました。

3月11日（日）の午後1時半より、大阪府社会福祉指導センターにおいて、安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会2018年度総会（幹事会）を、43人の出席で開催しました。

太田いつみ代表幹事（日本共産党大阪府委員会）による主催者あいさつで開会し、その中で北朝鮮問題、沖縄の問題、核兵器禁止条約採択などに触れ「どの分野においても安倍政権の強権政治が国民との矛盾を広げています。この政権に未来はありません」と語られました。

特別報告として、安保破棄中央実行委員会事務局長の東森さんに「辺野古新基地阻止、『安倍改憲』反対運動と私たちの役割」と題して話をいただきました。2月に行われた沖縄の名護市長選挙結果をどう見るかという中で、日本政府が基地推進派の市長を誕生させるためにどれほどの権力と金力を動員していたのかということを示され、あの選挙は「稲嶺前市長 vs 国」だったんだということと話をされました。その上で、秋の沖縄県知事選挙勝利に向けてすべきこととして、それまでに行われる選挙で「オール沖縄」首長を広げ、9月の沖縄・市町村議会統一選挙においても「オール沖縄」勢力を伸ばし、翁長さんが自信と確信をもって立候補できる状態をつくっていくこと。そして、全国の運動で安倍政権を追い詰めていくことが重要と話されました。また、辺野古新基地建設工事に関して、政府が示していた5年で護岸工事を終えるという日程の3年8か月が過ぎても計画の4%しか終わっていないという現状や、活断層の存在などの問題がある中で今後さらに工事を進めることが難しくなることを示されました。

締めくくりとして、安保条約の根本的害悪を認識している安保破棄実行委員会の役割として、「市民と野党の共闘を進展させながら同時に安保無くさなきゃ問題の解決にはならないということと私たちたちが基軸となつて広げていかないといけない」と語られました。

守山事務局長から、「ここ一年間の活動の振り返りと総括、2018年活動方針の提案がされ、それに続いて討論に入り、6人の方か



当面の予定

- 3月
 17日(土)おおさか総がかり行動実行委員会・9条の会宣伝行動
 (15:00~梅田)
 19日(月)大阪平和友好団体合同3000万署名行動
 (10:00、大阪平和委員会集合)
 21日(水・祝)大阪平和遺族会「いま平和憲法を守る正念場」
 (10:00~たかつガーデン)
 23日(金)大阪安保23定例宣伝行動&
 大阪平和友好団体合同3000万署名行動
 (12:00~淀屋橋)
- 4月
 4日(水)大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
 6日(金)安保破棄中央・辺野古新基地建設反対現地支援行動
 (~8日)
 14日(土)メディアを考える大阪実行委員会「これでいいのか
 日本のメディア(3)」
 (14:00~社会福祉指導センター)
 16日(月)ヒバクシャ国際署名推進大阪の会
 「I CAN川崎哲さん語る」(18:30~エルおおさか)
 18日(水)9条の会・大阪連続学習会(18:30~エルおおさか)
 「憲法9条こそ平和を創る力」(川田忠明氏)
 19日(木)大阪平和友好団体合同3000万署名行動
 (10:00、大阪平和委員会集合)
 23日(月)大阪安保23定例宣伝行動&
 大阪平和友好団体合同3000万署名行動
 (12:00~淀屋橋)
 27日(金)「名護市長選挙支援行動報告集会(仮称)」
 (18:30~グリーン会館)
 30日(月・祝)大阪母親大会プレ企画(13:20~たかつガーデン)
 「平和憲法を守る力、3000万署名達成を目指して」(畑田重夫氏)
- 5月
 1日(火)メーデー
 3日(木・祝)「安倍9条改憲を許さない」
 5・3おおさか総がかり集会」
 (13:30~扇町公園)

コラソン・パブロフさん 来訪

大阪安保常任幹事との懇談



コラソン・パブロフさん



コラソンさんと、
懇談参加者

3月7日、3・1ビキニデー、国際女性デーの集会参加のために来日中のフィリピンの平和活動家コラソンさんを迎え、大阪安保常任幹事メンバーが懇談会を行いました。

コラソンさんは、今年の3・1ビキニデー集会が昨年7月に国連で採択された「核兵器禁止条約」を大きく反映するものだったと報告。国連に向けてのNGO側からの「条約を成功させよう！」という大会を4月に開催することを表明されました。

同時に、米国の参加者からトランプ政権下で核情勢が極めて悪化している様子と、一方、米国内で頑張る平和勢力の運動も紹介されたこと、韓国の参加者からは、北朝鮮問題は外交努力によって解決すべきと強調されたことなどが報告されました。

フィリピン国内の状況については、ドゥテルテ政権が強圧的になってきている政治状況も報告されましたが、1987年のアキノ政権下に作られた憲法において非核が謳われていることにより、フィリピンは既に条約の調印を行っており、ASEAN加盟11カ国中6カ国が調印を済ませて残る5カ国に迫っていることが伝えられました。

23宣伝行動

2月22日に、先月とは打って変わって暖かい中「大阪安保23定例宣伝行動」を行いました。23日が大阪府議会開会日ということで、一日ずらしての実施でした。

この日は、原発賠償関西訴訟の第17回期日であって、その宣伝とも重なったため、マイクでの音出しを12時半からとずらして、それまでは、ビラまきと署名活動に集中して行いました。

13人の参加で、「全国統一3000万署名」集めと、ビラまき、後半30分は、大阪市をよくする会、大阪労連、大阪憲法会議、大阪安保からの弁士がそれぞれ訴えました。

署名は、淀屋橋としては多い24筆が集まり、カンパをしてくれる人もいました。

次回は3月23日に、大阪平和友好団体3000万署名統一行動として行います。



大阪安保の紹介に込め、「総合的な闘いをしなければ運動は成功しない」と共感され、コラソンさん自身が学校の教員・医者・学者・青年など広くの人々が関わって一つの目標に向かって運動している「非核フィリピン連合」の事務総長をしていることが語られました。

そして、憲法に記された条文に基づき、米国との協定が1991年に満了以後、市民が議員とのロビー活動を徹底して行い、フィリピン国会の上院での成立を許さず、米軍事基地を撤去させたことが紹介されました。

「いま基地の跡地を訪れ、思い返すと感慨深い」私も若いころ、まさか米軍が出ていくとは思っていなかった」と彼女の言葉を聞き、辺野古新基地建設を断念させることはできる。そして、立憲主義を破壊し民主主義を踏みしめる安倍政権を倒し、世界に誇る日本国憲法を守り、憲法が活きる政治を実現するため、3000万署名を成功させようと思える懇談会でした。